



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 江崎巡査物語 2ページ
- 私の歩み方(原光隆さん) 3ページ
- 地域の話(童浦校区) 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ

多くの人々をコレラから救った若き警察官

江崎巡査物語



▲江崎邦助巡査

6月23日(水)、故江崎巡査夫妻125回忌追悼慰霊法要が浄光寺(加治町)などで行われました。江崎巡査は、明治時代、渥美半島に広まったコレラの防疫に奔走し自らも感染、25歳という若さで殉職した警察官です。今回は、江崎巡査についてご紹介します。



●昭和61年に、野田小学校4年生が松浦邦治先生の指導のもと、江崎巡査のお話を共同制作で木版画にしたものです(浄光寺蔵)



●江崎巡査の郷土劇



●江崎巡査夫妻殉職の地碑(加治町)

語り継がれるコレラの防疫

明治19年、豊橋署田原分署(現田原警察署)に着任した江崎巡査は、堀切村(現堀切町)でコレラに感染した患者の防疫を命じられました。「コレラ(コレラ)患者は毒殺される」と信じ込んだ村民から激しく抵抗されますが、巡査の熱意に打たれ次第に理解を示すようになりました。ようやくコレラも治まったころ、感染に気付いた彼は田原に戻らず、現在の加治町稲場に留まり殉職しました。また、看病をした妻のじょうも感染し、19歳の若さで亡くなりました。現在でも、彼らの遺徳を忍び法要が行われ、郷土劇や昔話などで語り継がれています。

衣笠小学校郷土劇

衣笠小学校では、江崎巡査を題材にした郷土劇が、学芸会で演じられています。この劇の一部は広報ビデオNo.28『田原町の郷土劇』でも紹介しています。このビデオは、中央図書館で借りることができます。

「もと」ばあちゃんのおはなし

田原の児童文学者、山田もと先生による田原の民話や童話、伝記集をまとめた『もと』ばあちゃんのおはなし』という本があります。この本の中で、郷土の人々を書いたお話として、江崎巡査が紹介されています。この本は、市内図書館で借りることができます。



ます。

江崎巡査物語のマンガ

漫画家・永矢洋子さんが、江崎巡査の生きざまを作品化されました。作品「風よ風よ…」は、平成15年にぶんか社から出版された「ほんとうに泣ける話15」に収録されています。このマンガは、中央図書館で借りることができます。



ます。